

オリーブの会通信

مجموعة الزيتون

2022年6月20日第19号(通巻25号)
オリーブの会
大阪府豊能郡能勢町平通101-453
tel/fax:072-737-9454
mail: olivenokai_zeytun@yahoo.co.jp
facebook:oribunokai

シャリン・アブアクリ記者の殺害は、 西岸の緊張を高めた。



シャリン記者の殺害現場

1. 5月11日、西岸のジェニンで、ジェニンでの衝突を取材にいった、シャリンを含むアルジャジーラの取材クルーは、プレスと書いたヘルメットと防弾チョッキをつけていたにも関わらず、イスラエル軍からの突然の発砲を受けた。その結果、シャリンは頭部に銃撃を受け、即死し、他のクルーは、背中に銃撃を受けて負傷した。シャリンへの銃弾は、ヘルメットの下から貫通し、しかも特殊な銃弾で即死させられていた。これは、明らかにイスラエルの狙撃兵による狙い撃ちである。

イスラエル政府は、イスラエル兵の銃撃であるということと否定し、パレスチナ人の銃弾によるものとした。ビデオをまで使った嘘の情報をながしたが、イスラエル内の人権団体が、その映像を分析し、シャリンが殺されたところと別のところであることを暴露した。その後、イスラエル軍によるものであることを認め、狙撃に使われた銃まで特定したにも関わらず、パレスチナ側が検死で摘出した銃弾を引き渡さないことを理由に捜査を打ち切っている。

パレスチナ側は、第三者による調査を求め、殺害の責任を隠す恐れのあるイスラエルに証拠の銃弾をわたさなうとした。国連をはじめとして、国際機関は、第三者の捜査をもとめた。

シャリンの遺体は、その日のうちに検死され、そのあ

とラマラのアルジャジーラの本部に移送され、次の日に、ラマラの大統領府で、自治政府による葬儀が行われ、アッバース大統領など自治政府の要人が参列した。

ラマラでの自治政府による葬儀のあと、シャリンの遺体は、彼女の実家のある東エルサレムへの運ばれていった。イスラエルの妨害にも関わらず、シャリンの死を悼む多数のパレスチナ人たちが葬列を作った。

ところが、東エルサレムのフランス病院に遺体が搬送され、多数のパレスチナ人が集まっているところへ、イスラエル軍が突入し、パレスチナの旗を掲げるパレスチナ人を狙いうちに、病院の中にまで侵入し、葬列でシャリンの遺体を入れたお棺を担いでる人々を襲い、危うく、お棺が地面に落ちるとことであった。キリスト教徒であるシャリンの遺体は、カソリックの教会で、家族たちに祈られ、最終的にはシオン山にある彼女の父母が眠る墓地に埋葬された。

死者を鞭打つ、イスラエル軍の行為は、国際的な非難をあびることになった。イスラエルは、この行為を、シャリンの弟の要請であるとして、その責任を転嫁しようとしたが、シャリンの弟のアントニさんは明確に否定した。

2. この事件は、5月5日のテルアビブ近くのエラドで、パレスチナ人二人が、3人のイスラエル人を殺害し、多

数を負傷させた事件のあとに起こった。この作戦を担った2人のパレスチナ人は、西岸のジェニンの村の出身者であることが分かり、イスラエルは報復にジェニンエリアの攻撃を行った。この作戦は、ハマスがその責任を発表していた。

その前にも、4月29日に、西岸のアリエル入植地に、パレスチナ人が銃撃し、警備員一人が死亡し、イスラエル地域全体を封鎖し、犯人の捜索をしていた。アルコッズ旅団が責任を表明していた。

イスラエル占領者とパレスチナ人の抵抗運動の間の緊張は、5月15日のナクバの日に、過激入植者たちが、アルアクサ、旧市内で旗の行進を強行し、アルアクサで生贄の儀式を行うとしたことで、パレスチナ人を挑発することで高まった。

イスラエル占領当局は、この挑発行動を禁止したが、パレスチナ人の怒りは拡大し、4月の抵抗闘争の拡大に引き続いて、抵抗闘争は拡大した。ジェニンは、抵抗闘争の拠点として、イスラエル占領軍は、繰り返し、攻撃していた。そして、ジェニンのパレスチナ人はあらゆる形で、抵抗を行っていた。シャリンの死は、この衝突を取材するためにジェニンに入ったところで、占領軍によって殺された。

イスラエル軍は、これまでもジャーナリスト殺傷させてきたが、パレスチナのシンボルとも言うべき、ジャーナリストを殺害することで、パレスチナを委縮させようとしたが、パレスチナの人々の怒りは拡大した。

3、イスラエルのベネット政権は、連立内のアラブ系議員が、抗議してやめ、また、その前にベネットの右翼党の議員が連立支持しないとやめていたことで、連立政府の支持者は、過半数を割ることになった。統一リストのマンスール・アッパースは連立に残り、その本性を明確にした。また、彼は誰が政権を持とうとも連立するとまでいっている。

さらに、西岸にイスラエルの法を適用する緊急法が否決された。この法には統一リスト、メレツなどが会期に参加せず、アラブリストの議員が反対表明をした結果、反対多数で否決され、他の法案も同様に否決されることになった。

ベネット政権は、いつ解散総選挙へ至ってもおかしくない状況にある。イスラエル国民は、総選挙が繰り返されてきた状況のなかで、総選挙をしないで、連立の組み換えを望む声が強い。極右から左翼、アラブ政党まで含むこの政権が安定的なるはずもなく、首相のベネットは自治政府のアッパースとの会談を拒否しており、外相

のラピド、国防相のガンツはアッパースと連携しており、メレツなどの左翼は、パレスチナと和平交渉を進める立場であり、パレスチナ人議員は、ベネット政権による弾圧政策は許容できないものであった。このようなバラバラな政権は、短期に崩壊することが予測されていたが、パレスチナへの抑圧的政策のために、イスラエル内の支持を得ている。ベネットがイスラエル軍の銃器の使用を無制限にし、パレスチナ人の殺害を奨励したことは、その典型である。ベネット政権は、政権を維持しようとするれば、パレスチナへの強硬な政策を続ける以外にない。

4、米国は、シャリンの殺害を非難したが、イスラエルに対する制裁などは考えてもいない。また、東エルサレムに領事館を再開すると約束しながらいまだに実現していない。それどころか、駐イスラエル米国大使館の中にあるパレスチナ担当課を独立させ、国務省直轄のパレスチナ事務所というかたちで、お茶を濁している。

米国は、二国解決方式を支持すると言いながら、その方向への積極的な外交を行ってはず、その代わりに、イスラエルとアラブ諸国の正常化をすすめて、反イランのイスラエル・アラブの軍事同盟を作り上げようとしているし、頻りにイスラエル、アラブ諸国、米国との間での軍事演習を繰り返している。したがって、パレスチナ問題は、第一の課題ではない。

自治政府は、相変わらず、米国の圧力に期待しているようだが、そこからは、パレスチナ国家の樹立への道はない。米国に合わせようとして、パレスチナの人々の闘争をテロとして非難しても、和平交渉を進めることははない。このような態度は、パレスチナの武装闘争を支持するハマスなどの他のパレスチナ勢力との分裂を深めるだけである。



家族との再gの最後の別れ



アルジャジーラ
アフ・アクレ氏の暗殺は悲劇的であり、意図的
である。占領軍はその責任を問われなければならない

掲載日 05/11/2022 (最終更新: 05/11/2022 時間: 12:35)

【ラマラ=マアン】カタールのアルジャジーラ・メディア・ネットワークは今朝(水曜日)、ヨルダン川西岸北部のジェニン難民キャンプ襲撃の取材中にイスラエルの銃弾で殉職した同僚のシャリン・アブアクレに起きたことは冷血な処刑であったと確認しました。

同ネットワークは声明で、「これは国際法と規範に違反する悲劇的な計画的殺人である。イスラエル占領軍は、私たちのレポーター、シャリン・アブアクレの暗殺を、冷酷に実行した。」

同ネットワークはこの凶悪な犯罪を強く非難し、それはメディアがメッセージを果たすことを妨げることを意図したものであると述べ、イスラエル政府と占領軍を非難しました。

同ネットワークは国際社会に対し、イスラエル占領軍が同僚のシャリン・アブアクレを意図的に狙い撃ちして殺害したことを非難し、その責任を追及するよう呼びかけました。

同ネットワークは、犯人がいかに罪を隠蔽しようとも、合法的に起訴し、裁きを受けさせることを約束した。

アルジャジーラのパレスチナ事務所長ワリード・アルオマリは、ジェニンでの出来事を取材中にイスラエル軍の狙撃手に撃たれ、シャリンは殉職したと述べました。

アル・オマリ氏は、起こったことは占領軍による計画的な殺人であると強調しました。



大統領府は、本日水曜日、イスラエル占領
軍によるジャーナリスト、シェリーン・アフ・
アクレの処刑を非難した。

【ラマラ=マアン】- 大統領府は、この凶悪犯罪の全責任をイスラエル政府に負わせ、これは占領軍がわが国民、その土地、その聖地に対して日々追求している政策の一部であると強調した。

また、ジャーナリストのアフ・アクレを処刑し、ジャーナリストのアリ・アル・サムディを負傷させた犯罪は、真実をあいまいにし、犯罪を黙認するためにジャーナリストを標的とする占領政策の一部であると強調した。

大統領府は、殉教者アフ・アクレの家族と彼女の同僚に深い哀悼の意を表し、全能の神がその広大な慈悲で彼女を祝福し、その広大な庭園に住まわれるようお願いした。

大統領府は、このような標的があるにもかかわらず、正当なパレスチナの大義のために国家的、人道的義務を遂行し続けるパレスチナのジャーナリストたちに敬意を表する。

ハマス : シャリン・アブアクレの暗殺は意
図的な犯罪であり、占領軍のテロの実態を
覆い隠すことはできない

掲載日 05/11/2022 (最終更新: 05/11/2022 時間: 09:40)

【ガザ=マアン】ハマスは、今朝(水曜日)、ジェニン難民キャンプの襲撃を取材していたパレスチナ人ジャーナリスト、シャリン・アブアクレがイスラエル占領軍によって頭部を実弾で狙われ、暗殺されたこと、またジャーナリストのアリ・アル・サムディが背中を負傷したことを、最も強い言葉で非難した。正気で、現実とパレスチナ人が占領下で晒されている組織的テロを伝えるすべてのジャーナリストとメディアの専門家がそうだというのに。

ハマスは、報道と言論の自由に対するこの凶悪な犯罪

は、世界とすべての国際機関を、この犯罪を非難し、すべての価値観を踏みにじり、すべての国際規範と法律を踏みにじった占領指導者の責任を追及する責任の前に追いやるものと強調した。

“我々ハマス運動は、殉教者シャリン・アブ・アクレの家族に心からの哀悼とお見舞いを送ると共に、アルジャジーラメディアネットワーク、そして我々アラブ・イスラム世界と世界の全てのメディア機関に、そのメディア道とパレスチナでの出来事を報道し占領下の我が国民の苦しみを強調することによる差別化を賞賛するために、そのような報道を行う。そして、占領の現実、その残虐性、テロリズム、人、土地、聖地に対する犯罪の真実、現実を伝えるメディアとフリージャーナリストの役割を無視することに、この犯罪が成功することはないと断言する。

ガザのファタハ、占領軍によるシャリン・アブ・アクレ殺害を全面的な犯罪と見なす

掲載日 05/11/2022 (最終更新: 05/11/2022 時間: 09:33)

【ガザ】パレスチナ民族解放運動ファタハは、共に、殉教者ジャーナリストシャリン・アブ・アクレの暗殺を、世界各地のあらゆる国際法と法律で保障された権利である、現場の実態を伝える真実の使者に対してイスラエル占領軍が行った全面的な戦争犯罪と見なした。

イヤド・ナスル運動のメディアスポークスマンは、アルジャジーラ特派員アブ・アクレの暗殺は、わが民族とパレスチナメディア、パレスチナで活動するアラブや国際メディアに対するイスラエルの連続した犯罪のシリーズに加えられた新しい犯罪である、と述べました。

彼はまた、「我々は、この犯罪が、これまでの犯罪のように、その加害者の責任を追及することなく、見過ごされてきたことに驚かないだろう。それは、国際社会が、法の上に国家を持ち、そのすべての犯罪に沈黙しているようにイスラエルを扱う二重基準で扱うように、この犯罪に対するその沈黙は、その不正な行動に対する沈黙と同じだろう」

彼は、様々な報道機関に対し、我々の国民に対する占領軍の日常的な犯罪を暴露し続けるよう呼びかけた。

ムスタファ・バルグーティ、真実と報道の殉教者シャリン・アブ・アクレを悼む

掲載日 05/11/2022 (最終更新: 05/11/2022 時間: 10:21)

【ラマラーマアン】 - パレスチナ民族イニシアチブの事務局長であるムスタファ・バルグーティ博士は、今朝、占領軍がジェニンキャンプに侵攻した際、その入口で暗殺された真実と報道の自由の殉教者、Al Jazeera TV 記者、シャリン・アブ・アクレを弔問した。

ムスタファ・バルグーティ: 我々は今日、そしてパレスチナ国民は、彼女の客観性、高い専門性、そしてどんな状況でも真実を伝えようとする献身的な姿勢を持った優れたジャーナリストを失いました。

また、シャリン・アブ・アクレは、長年にわたり、その優れた報道によって、パレスチナの各家庭に存在していた、と付け加えた。したがって、今日、すべてのパレスチナの家庭は、犯罪的な占領者の手による彼女の喪失と殉教の悲劇を感じている。

バルグーティは、「亡くなった方のご家族とアルジャジーラのシャリン・アブ・アクレの同僚や仲間悲しみと哀悼の意を表すのに十分な言葉がありませんが、占領と人種的迫害のパレスチナで起きていることの真実を全世界に伝え続けることが今日の我々の義務で、それはシャリン・アブ・アクレがその命を犠牲にしたこと」と述べました。

イスラエルの人権団体の声明

B'Tselem: アブ・アキラの死亡場所に関する占領軍のテープは不正確である

掲載日 05/11/2022 (最終更新: 05/11/2022 時刻: 18:50)

【ベツレヘム - マアン】 - B'Tselem の調査により、軍が公開・配布したテープに記されたパレスチナ人ガンマンによる銃撃は、ジャーナリストシャリン・アブ・アクレの負傷の原因とはなりえないことが判明した。

今朝、ジェニンの B'Tselem 現地調査員は、軍が公開したビデオに映っている、パレスチナ人ガンマンが発砲した場所を記録した。彼はまた、ジャーナリストのシャリン・アブ・アクレが致命的に撃たれた場所を記録した。その場所の特定ポイントと写真によれば、ビデオに記録されている銃撃は、シャリン・アブ・アクレと彼女の同僚の負傷の原因にはなり得ないことが明らかである。



検察庁、殉職した同僚シャリン・アフ・アクレの解剖結果を発表



人民戦線、シャリン・アフ・アクレ暗殺事件のファイルを国際刑事裁判所に提出するよう要請

投稿日 05/13/2022 (最終更新: 05/14/2022 時間: 00:40)

【ラマラ-マアン】-2022年5月11日(水)朝、ジェニン難民キャンプの西側入口で、占領軍によって行われ、ジャーナリストシャリン・アブアクレが死亡した凶悪犯罪の捜査手続きの継続を検察庁が確認した。検察庁は、法的手続きを完了するため、犯罪現場の検証、すべての目撃者の聴取、犯罪を記録したすべてのビデオクリップを監視するように指示された。予備調査の結果、現場での唯一の火元は、シャリン・アブアクレが負傷した瞬間の占領軍によるものであり、調査によって、占領軍が意図的に犯行を行ったことが示された。これは、現場の検出および検査手続きによって、シャリンが衝突した近くの木に最近の密接な痕跡があることが判明したためである。また、占領軍が最も近くに配置され、負傷したシャリン・アブアクレから約150メートル離れており、彼女はジャーナリストの制服と保護用ヘルメットを着用していたことから、犯行地点に向かって直接銃撃した結果である。

検察側は、最初の法医学的診断の結果、直接の死因は高速度火薬弾が入口傷から頭蓋骨腔に貫入し、出口傷から腔外に出た後に衝突し、保護帽の内側とその反動で頭蓋骨内の裂傷組織の中に定着したことによる脳の裂傷と確認されたとしている。殉職者の遺体から弾丸が抽出され、検察はこれを刑事研究所に照会し、詳細な技術報告書を作成するよう命じた。検察は、捜査の最終結果が出次第、記者会見で発表する予定です。

検察は、すべての犯罪を捜査する本来の管轄権を持っているため、イスラエル占領の犯罪は国際刑事裁判所の管轄下にある戦争犯罪であるとして、必要な捜査手続きをすべて完了させることを続けていると強調した。

人民戦線: シャリン・アブアクレの血に敬意を表して、アルジャジーラで「イスラエル」との会談が中断されました。

2022年5月11日 | 10:56

今日、水曜日、パレスチナ解放人民戦線は、パレスチナ人ジャーナリストのシャリン・アブアクレの殉教とジャーナリストのアリ・サモウディの負傷につながった、ジェニンのシオニスト占領軍兵士による凶悪犯罪に対する強い非難を表明した。あらゆる形態の攻撃と殺害を実践するために軍と入植者の手を解放するという占領政府の決定の具体例としてある。

人民戦線は、殉教者シャリンの暗殺は、占領の犯罪、そのファシズム、人種差別について他のメディアに伝えたい真実を殺すことを目的としていると考えました。

人民戦線は、少なくともシャリン・アブアクレの流血を称えるために、シオニストの役人や犯罪者との画面上で行われるすべての会議を停止するようにアルジャジーラネットワークの管理に呼びかけました。

それは、すべてのパレスチナ人の殉教者である殉教者シャリン・アブアクレの魂と、進行中の犯罪にもかかわらず、彼らの国民の正当な目的に向けて国家のおよび人道的役割と義務を果たし続けているパレスチナのメディア専門家に敬意を表することによって終わりました。

パレスチナ解放人民戦線
中央メディア部

2022年5月11日

民主戦線: Shireen Abu Aqlehの葬儀を襲撃した罪は、彼らの暗殺の罪に劣らず恐ろしいものである

掲載日 05/14/2022 (最終更新: 05/14/2022 時間: 00:12)

ガザ - マアン - パレスチナ解放民主戦線は、イスラエル占領軍がエルサレム市の中心部にあるパレスチナのメ

ディア関係者シャリン・アブアクレ氏の葬儀を残忍に襲撃したことを非難した。占領当局は、国際世論の前に占領のファシスト的真実を明らかにし、明らかにするために、一瞬たりとも止まらなかったパレスチナの報道機関に。

戦線は、占領下のエルサレムにいるわが民族の大衆とヨルダン川西岸と48区から来た人々の、占領軍に立ち向かう英雄的で勇気ある姿勢と、わが民族の統一を現地で体現したことに敬意を表するものである。



2022年5月28日 | 13:51

パレスチナ解放人民戦線は、22年間日本の刑務所に収監されていた日本の革命闘士「重信房子」さんが本日釈放されたことに祝意を表する。

同戦線は、この戦士と日本赤軍の同志がパレスチナと大義のために提供したものを、パレスチナ人民は決して忘れないと強調した。彼らは革命的かつ原則的な信念と

反帝国主義によって、人民戦線の隊列に加わり、その戦闘員とともに戦い、一連の英雄的作戦、とりわけロド空港作戦コマンドーを実行した。その結果、40人のシオニストを殺害し90人を負傷させ、奥平剛と安田浩之の2人の赤軍兵士が殉教し、13年間独房で過ごした後1985年の「ガリラヤ作戦」交換取引で解放された戦士岡本公三の家族もそうであった。

戦線は本日土曜日の声明で、重信さんが、戦線とパレスチナのための映画やメディア資料の作成に尽力したことに加え、戦線のスポークスマンや戦線の中央メディア部門で殉教した文学者ガッサン・カナファニとともに働いていた国際的闘士の一人としてふさわしいと強調した。また、戦線の資料や文献を日本語に翻訳した。

世界自由戦線は、この日本の革命的闘士と前衛に倣い、パレスチナと人民戦線とともに闘うという地理的制約を超えた国際的な義務を果たすことによって、その理念的、革命的所属を現実のものとするよう呼びかけました。

戦線は最後に、世界の悪と帝国主義の総本山であるアメリカの敵が日本国民に対して行った残虐行為、とりわけ広島と長崎に原爆を投下し、数十万人の日本人の死をもたらした罪は、日本の当局が帝国主義・シオニスト政策を否定し、反対して、その姿勢を変える強い理由とならなければならないと強調し、声明を結びました。彼らの道具の一部であり続けるために、また、彼らを追い詰め、逮捕するのではなく、国際的な革命的闘士を称えるように呼びかけます。



獄中者マルワン・バルグーティの逮捕20周年記念スピーチ

公開日：2022年5月25日（最終更新：2022年5月25日 時間：20:38）

慈悲深きアッラーの御名において

国民の団結と包括的な抵抗が、自由と勝利への道である。

姉妹、兄弟、あらゆる場所のパレスチナの息子たちよ、そしてパレスチナ民族解放運動「ファタハ」の私の息子たちよ、兄弟たちよ。私は今日、私の小さな暗い独房か

らこのメッセージとともにあなた方を見つめる。土地、人、石、木に対する植民地的な侵略がエスカレートしている今、私はあなた方に敬意を表し、あなた方の手を強くします。この国をユダヤ人化することを目的とした植民地・入植者の侵略が始まって以来、止まることのない侵略は、民族浄化作戦の枠内で1948年に114以上の虐殺を行い、534の町、都市、村を破壊しました。イスラ

エルは、逮捕、捜査、拷問、屈辱などの政策を続け、パレスチナは100万の囚人の国となり、殺害、没収、包囲、飢餓作戦は続いているのです。しかし、私は、わが国への植民地侵攻が始まってから150年近くが経過したにもかかわらず、海から川までのパレスチナの土地に、不動心、生存、抵抗の叙事詩を書いた700万人を超えるパレスチナ人が住んでいることを、わが国民に呼びかける。これらは、統計上の数字ではないのである。むしろ、ディアスポラや世界中のキャンプに分布する700万人のパレスチナ人男女に支えられた、抵抗する文明的、文化的、経済的、科学的、政治的、愛国的、メディア的行為者が、自決権と祖国への帰還に今も固執しているのである。

パレスチナ人よ、ファタハの人々よ、ファタハ運動がその歴史的指導者であるだけに、分裂の破滅的状態、和解路の崩壊とその行き詰まり、パレスチナ人の代表性と統一への脅威を考慮すると、危機が危険かつ運命的レベルに達しているパレスチナ民族運動とその政治システムの状態を無視することはできない。パレスチナ民族主義者は、その役割と団結を脅かす危機を経験している。従って；この機会に以下のことを強調したい。

第一に。それは、民族解放運動としてのファタハ運動の精神を回復し、民族解放の段階とパレスチナ民族プロジェクトを主導する役割を回復し、解放の言説とその語彙、条件、道具、方法を回復することを求めるものである。

第二に、運動を構築し発展させ、民主主義的な基盤の上でその統一性を維持し、多様性、違い、複数の意見と法学を尊重する。それは運動を弱め断片化し、その役割を危うくする疎外と分離の政策から離れて運動を豊かにし強化し、大きな闘争遺産と犠牲運動が与えた墓、その囚人と負傷者の数十万の苦しみと痛みを守るために努力する。

第三に、私は運動のメンバーと指導的枠組みに対し、第8回大会の準備のために最も広い内部友愛と責任ある対話を行い、必要な政治、組織、メディア、行動の検討を行い、議論と対話のための最も広いワークショップのために、運動の幹部を最も広い規模で巻き込み、運動を動員し組織をその先駆的役割に回復させる道に進むよう要求する。運動の制度と指導者の枠組みの考察と役割を回復し、集団指導の原則を捧げ、縁故主義と個人的忠誠のすべての発現を拒否し、説明責任と責任の原則を確立し、最も困難な立場にある幹部を置き、救済、犠牲、革命的かつ国家的行動の価値を回復し、思想と実践において運動の指導者を本来のファタモデルに提示し、そして政治と道徳的行動、飲食、住居などにおいて、そのように。

指導者たちは、植民地主義との闘いに進むことが求められる。

第四：PLOの枠組みの中で、分裂を終わらせ、民族の和解を達成し、パレスチナ民族統一を構築することを目的として、政治、社会、経済勢力のすべての代表、さまざまなセクター、グループ、セグメント、組合、市民・市民団体、青年、学生、女性の代表の参加による包括的対話のための全国会議を呼びかける。完全な国民的パートナーシップと多元主義、そしてハマスとイスラム聖戦の合流を基礎として、それが様々な構成要素を持つわれわれパレスチナ人の真の体現となり、新しい統一された国家戦略を定めるためにである。

第五：「国民合意文書」をプログラムとして、ヨルダン川西岸とガザ地区の国家機関の完全なパートナーシップに基づく再統一、ガザ地区の復興、総選挙の監督を行う、全員参加の国民統一政府の樹立を要求する。

第六：立法による監督、説明責任、アカウントビリティがない中で活動する行政当局という一つの権威に満足するのは無理があるため、総選挙実施の新しいタイムテーブルを設定し、パレスチナの民主主義とパレスチナ民族運動、パレスチナ政治システムを復活、再生、再構築すること。

第七に、国家機関の機能、特に治安機能を再検討し、不屈の精神と抵抗力を強化し、自由と帰還、独立への架け橋を形成することで、歴史的役割を維持できるようにすることである。また、公共と個人の自由、報道とメディアの自由、意見と表現の自由を解放し、自由に対するあらゆる形態の侵害を拒否することも重要である。女性の権利とその公正さを尊重し、女性に対するあらゆる形態の身体的、言語的および道徳的暴力を拒絶する。これは、女性の自由が、民族、国家および国の自由の実際的な体現であり最大の現れであることを根拠とするものである。同様に、法の支配、司法の独立、および行政当局によるその事務への不干渉も尊重されなければならない。

第八：私はハマスに対し、中央選挙委員会がガザ地区で自治体選挙と地方選挙を組織するために自由かつ透明性をもって活動できるようにし、また労働組合、連盟、大学、センター、機関などがいかなる干渉も受けずに民主的選挙を実施できるようにすることを要求する。あらゆる形態の自由を解き放ち、意見と表現の自由、そして報道の自由を尊重すること。

第九に パレスチナ人、民族主義派、イスラム派、PLO、国家当局に対し、囚人の解放に尽力し、彼らの拷問と苦しみを終わらせ、囚人の解放を神聖な国民の義務であると考えよう呼びかける。20年以上、私は彼ら全員と彼

らの忍耐強く奮闘する家族に敬意を表します。闘う囚人、偉大な国家指導者、ナエル・バルグーティ・アブ・アルヌールは、42年目を過ごし、世界で最も高齢の囚人と自由の戦士となりました。また、捕虜のリーダー、囚人の長、カリム・ユニスに40年目に入り、彼の母は彼の顔を見る前に殉教者数十年の去り際に待っていたそうです。あなた方を通じて、私が誇りに思う親愛なる息子たちと娘たち、すなわち、私たちが光栄にもその創設と指導に貢献し、民族闘争への道と第一次インティファダのための民衆基盤を形成したファタの若者たちに申し上げたいと思う。であり、その幹部と指導者は、第二次祝福インティファダとアル・アクサ殉教者旅団の設立と指導において指導的役割を果たし、それがファタの新たな泉、ファタの静脈を流れる純粋で純粋な血、運動の主要な支流であることを我々は繰り返し強調し繰り返してきた。一般に青年、特に学生の青年は、その独立性と民主主義をより大切に、支援し、保護し、守るべきであり、任命、即興、至上命令から離れ、定期的、規則的に彼らの体を選出することの重要性を強調する。私は、青年の中の愛する者たちに、結束と団結を求め、国家的分野と抵抗-青年の時代であるように、あるいは組合、自主的・協同的活動、学生奉仕、わが国民の大衆への奉仕の分野でも、その役割を最大限に発揮するよう呼びかけます。青年は、権力やその機関から距離を置き、そのすべての仕組みと条件を備えたファタの民族解放言説を堅持する権利がある。青年は、すべてファタのために、そしてクォータや分断から離れて、すべて青年のためにあるのである。

結局のところ

国家的、歴史的、ファタ的責任に基づき、兄弟、最高司令官、道と行進の同伴者の道徳的、組織的能力において、中央委員会の姉妹と兄弟に対して、運動の指導者と幹部から解任の決定を見直すよう求める。綿密かつ責任ある内部対話を開始し、政策を見直し、兄弟愛と責任の精神を強化し、運動の団結を強化し、その活力を維持し、ファタハ運動の統一は神聖な問題であることを強調し、私たちはすべて、国家解放運動と解放プロジェクトのリーダーとしてその役割を復元するためにその精神に協力する必要がある、その歴史の闘争遺産を維持するために呼び出します。ザ・ナショナル。ファタハ運動は、その歴史的な闘争遺産を維持し、私たちはすべて、その精神に協力し、その解放のプロジェクトのリーダーとして、その役割を復元するために呼び出します。

パレスチナの勝利... ファタハ万歳... それは勝利までの革命... 勝利までの革命... 勝利までの革命
あなたの兄弟、マルワン・バルグーティ / ハダリム刑務所、
28 番房



ナクバの記念日は・・・2020年末までの難民は640万人

掲載日 2022年05月15日(最終更新:2022年05月15日 時間:11:12)

【ラマツラ-マアン】-中央統計局によると、国連パレスチナ難民救済事業機関「UNRWA」の記録では、2020年12月までに登録されたパレスチナ難民の数は約640万人に達し、そのうち28.4%は58の公式キャンプに住んでいる。ヨルダンに10、シリアに9、レバノンに12、ヨルダン川西岸に19、ガザ地区に8のキャンプに分散しています。

この数字には、1949年以降、1967年6月の戦争前夜であっても「UNRWAの定義によれば」避難民となったパレスチナ人や、国外退去、国外追放されたパレスチナ人は含まれていないため、未登録の難民がいることを考慮すると、これらの推定値はパレスチナ難民の最小数であるといえる。1967年、戦争を背景に、そもそも難民でなかった人たち。

ナクバ以降、パレスチナ人の数は10倍以上になっている

1914年の歴史的パレスチナの人口は約69万人で、そのうちユダヤ人はわずか8%だった。1948年には200万人を超え、そのうち約31.5%がユダヤ人であった。1932年から1939年にかけては、最も多くのユダヤ人移民が流入した。1932年から1939年にかけて最も多くのユダヤ人が流入し、その数は22万5千人に達し、1940年から1947年にかけては9万3千人以上がパレスチナに流入している。こうして、1932年から1947年の間に約31万8千人、1948年から1975年までの間に54万人以上のユダヤ人がパレスチナに流れ込んできた。

1948年に80万人以上のパレスチナ人が移住し、1967年6月の戦争後には20万人以上のパレスチナ人がヨルダンに移住したにもかかわらず、2021年末の世界のパレスチナ人の総数は約1400万人に達し、1948年のナクバの出来事以来パレスチナ人の数が約10倍になっていることを示している(1948年の占領地には170万人が住んでいた)。

占有していることになる。

パレスチナのナクバにより、ガザ地区は世界で最も人口密度の高い地域となった

2021 年末のパレスチナ国の人口密度は約 878 人 /km²、西岸地区では 557 人 /km²、ガザ地区では 5855 人 /km² に達し、ガザ地区の人口の 66% は難民であり、難民の流入によりガザ地区が世界一の人口密度になったことに注目している。

注目すべきは、イスラエル占領軍がガザ地区の東側国境線に沿って幅 1,500m 以上の緩衝地帯を設定したことである。このため、ガザ地区の失業率は急上昇し、47% に達している。

優勢な失業率は、15～24 歳の年齢層の若者で最も高く、2021 年には 69% であることが判明しています。2017 年、ガザ地区は 53% だった。

1948 年のナクバ以降、十数万人が殉教している

1948 年のナクバ以降、今日までのパレスチナ人・アラブ人の殉教者数（パレスチナ内外）は約十万人に達し、アル・アクサ・インティファダ開始以降の殉教者数は、2000/09/29 から 2022/04/30 までの期間で 11,358 人に達しています。

2021 年に関しては、パレスチナでの殉教者は子供 87 人、女性 48 人を含む 341 人に達し、負傷者は 12,500 人に及んだ。

1967 年以來、約 100 万人の逮捕者

25 人の囚人が四半世紀以上占領下の刑務所で過ごしたイスラエル占領軍刑務所の囚人数は 2022 年 4 月まで 4450 人に達した（うち 160 人が子ども、ほかに女性囚人 32 人）。女性、一方、何の罪にも問われていない市民に対する行政拘留命令の数は 1,595 人に達し、終身刑（無期懲役）の囚人が 570 人、行政拘留者が 650 人いることがデータで示された。

2000 年 9 月以降、103 人の囚人が死亡したことが示されている。

2007 年は、イスラエルの刑務所内での囚人の死亡率が最も高く、7 人の囚人が殉職し、そのうち 5 人は医療怠慢の結果であった。

植民地化が進むイスラエル占領下

ヨルダン川西岸地区における 2020 年末のイスラエル植民地および軍事基地の数は 471 カ所に達し、その内訳は入植地 151 カ所、人が住む前哨地（既存の入植地に属する近隣とみなされる）26 カ所、植民地前哨地 150 カ所、その他（工業、観光、サービス地域、軍キャンプ、占領）を含む 144 区分のサイトとなった。6% であり、海外からのユダヤ人の徴用は、占領国の人口純増数の 3 分の 1

以上を占めている。

データから明らかのように、入植者の約 47% はエルサレム県に住んでおり、その数は 33 万 2294 人、そのうち 24 万 6909 人がエルサレムの入植者であり、パレスチナ人に対する入植者の比率は、ヨルダン川西岸ではパレスチナ人 100 人に対して約 23、エルサレム県ではパレスチナ人 100 人に対して約 71 と最も高くなっている。

2021 年には、イスラエル占領当局は、エルサレム総督府のカランディア空港の土地に 9000 の植民地ユニットを含む 12000 以上の植民地ユニットの建設を承認し、エルサレムを含む西岸全域に数千の植民地ユニットの建設を含む計画が承認されたため、西岸におけるイスラエル入植地の建設と拡大のペースが大幅に増加した。

継続的な土地収奪

イスラエル占領軍は、オスロ合意による土地の分類（A、B、C）を悪用してパレスチナの土地の支配を強化し、特に分類された地域（C）では、イスラエル占領軍が全分類地域の 76% を直接搾取しており、治安、計画、建設に関して完全にイスラエルの支配下に置かれている。（C）では、入植地の地域評議会がその 63% を支配しており、ヨルダン川西岸地区のイスラエル入植地（これらの入植地の拡張のために指定された閉鎖地域を含む）の影響範囲は、2021 年末の時点と同様に約 542km² に達し、ヨルダン川西岸の面積の約 10% に相当する。一方、軍事基地や軍事訓練場の目的で押収された地域は、西岸地区の面積の約 18% を占め、さらに併合・拡張壁は西岸地区の面積の 10% 以上を隔離し、219 以上のパレスチナ人コミュニティが壁の設置による影響を受けた。

また、イスラエル占領軍は、特にエルサレムやヨルダン川西岸地区の（C）に分類される地域において、パレスチナ人の締め付けや都市拡張を制限するためにあらゆる障害を置き、現在もイスラエル占領軍の完全な支配下にある。

エルサレム 集中的かつ組織的なユダヤ人化

占領当局は、強制退去と置き換えの政策の一環として、イスラムの名所を消し去り、パレスチナ人をエルサレム市から追い出し、世界中から来たイスラエル人と置き換えるために、エルサレムのユダヤ人化を加速させている。占領当局は、2021 年の間に、推定 2500 ダンの面積にある 2050 戸のパレスチナ人の土地を差し押さえるプロジェクトを承認したのに加え、300 戸以上の建物を取り壊し、200 戸以上の建物に取り壊し命令を出した。

当時、イスラエルの法律は、立ち退きが予定されているシェイク・ジャラーの住民を含むパレスチナ人が、1948 年に占領地で所有していた財産を取り戻すことを禁

止していた。

2021年中の植民地主義者による攻撃は1,600件以上。植民地主義者たちは、占領軍の保護の下、2021年の1年間、パレスチナ市民とその財産に対して、2020年比で約49%増となる1,621件の襲撃を行った。加えて、450人の市民の車や車両を燃やし、破壊し、破損させた。2021年に入ってから、植民地主義者たちは、パレスチナ人の土地の充当と支配の方法論の枠内で、新たに10の植民地前哨基地を設置しており、その中には、ナブルス市の南東に位置するJabal Sobeehという山の面積が約840。これまで植民地主義者が20ダンスを占領して、そこに植民地前哨基地を設置し、そこには多くの入植ユニットがあり、このところ急速に増加している。

一方、占領当局は、植民地の前哨基地を合法化し、イスラエルの植民地とするための手続きを開始している。また、イスラエルの植民地主義者は、約12万ダンのパレスチナの土地を農業のために搾取している。

パレスチナで利用できる水の20%は「メコロト」社から購入している。

イスラエルの施策は、パレスチナ人の天然資源、特に水の利用を制限し、不足分をイスラエルの水道会社「メコロト」から水を購入することで補うことを余儀なくさせることにつながっており、家庭用水の購入量は2020年に9030万m³に達し、家庭用水の購入量の20%を占めている。利用可能な水は4億4840万m³で、そのうち

パレスチナ日誌

パレスチナ日誌 2022年4月

4月1日

- ・ベツレヘムの東のテコアでイスラエル軍の軍用ジープが若い女性を轢いた。
- ・国連は、東エルサレムの地位を保つように呼び掛けた。
- ・イスラエルの発砲で、ナブルス70人が負傷した。
- ・ヘブロンで、占領軍によって、青年が射殺された。
- ・ピリンの行進の弾圧で、占領軍が実弾で青年を負傷させた。
- ・占領当局は、カフル・アルディク農業部屋4か所を建設を止めるように通知した。
- ・人権センターは、ガザのアルアズハル大学で起こった暴力事件を非難した。
- ・西岸で、占領軍は12人のパレスチナ人を逮捕した。
- ・エジプトは、イスラエルとの新たな合意にサインした。
- ・エルドアンは、ヘルツォグに、アルアクサへパレスチナ人の入場を妨害しないことの重要性を強調した。
- ・国連人権評議会は、パレスチナ人の自決権と入植地の違法性についての決議を行った。
- ・民族主義勢力は、占領に対する闘争のエスカレーションを呼びかけた。

5330万m³がパレスチナの湧水、2億9910万m³が地下井戸、570万m³が脱塩飲料水で、利用可能な水の1%を占めている。

ガザ地区の水質汚染によってパレスチナ人が利用できるようになった汚染水の質に話を戻すと、購入した水と脱塩水を含む人間の使用に適した2億4660万m³に対して、人間の使用に適さない2億180万m³の水がパレスチナ人が利用できるようになりました。

利用可能な水の79%は地下水である。

パレスチナは主に地下水と地表水から採取される水に依存しており、その量は利用可能な水全体の79%に達する。西岸地区の帯水層（東部流域、西部流域、北東部流域）の井戸から汲み上げる水の量は、2020年時点で約1億860万立方メートルにのぼる。

表流水の利用が弱いのは、ヨルダン川と死海の水をイスラエル占領軍が支配していることが主な原因である。なお、イスラエル占領軍は1967年以来、パレスチナ人がヨルダン川水を利用できないようにしており、その量は2億5千万立方メートルと推定される。

一方、ガザ地区の沿岸流域からの取水量は2020年中に1億9050万立方メートルに達し、この量は年間5000～6000万立方メートルを超えてはならないため不当な揚水とされ、水位19メートル以下まで枯渇させるに至った。海面以下では、海水の侵入、貯水池への汚水の浸出も起こり、沿岸の帯水層の水の97%以上が世界保健機関の基準に不適合となった。

- ・占領軍は、シュファトの青年を逮捕した。
- ・ナブルス南、ベイタで占領軍の発砲で123人が負傷した。
- ・カフル・カッダムの行進の弾圧で、占領軍の銃弾で、9人が負傷。
- ・バルグティ：ピリンのデモは、民衆抵抗のエスカレーションを確認した。

4月2日

- ・占領軍は、トルカラムの北で、家を包囲し、市民を逮捕した。
- ・占領軍は、ジェニンの衝突で、負傷した将校の身分を明らかにした。
- ・ジェニンの南で、占領軍は、青年に銃撃し逮捕した。
- ・ハマス：暗殺政策は、占領の安全を提供しない。
- ・イスラム聖戦は、ジェニンの3人の殉教者を追悼すると同時に、彼らの血を無駄にしないと
- ・民族イニシアチブ：占領軍は、野外処刑を使って、我が民衆に対する残虐さをエスカレートしている。
- ・ガンツ：治安が悪化している状況ではラマダンの政策を履行することはできない。
- ・占領軍は、エルサレムのバブ・アルアモウドエリアで、5人の青年を逮捕した。

4月3日

- ・イスラエルのメディア：ジェニン作戦で、将校が負傷した
- ・占領軍は、アルジャーニエとツルムサヤの村を襲撃
- ・ベネット：我々は、さらに作戦が増え、さらに治安部隊を展開させるだろう。

- ・ 占領軍はヘブロンの家々を急襲し、複数の市民を逮捕した。
- ・ トルカラム：分離壁の近くで労働者一人が、金属弾で撃たれ、他の人々が窒息した。
- ・ 入植者たちが、シリワンの近隣のバトン・アルハワを襲撃。
- ・ ヘブロンの南で、労働者がスタン弾で顔を負傷
- ・ イデオット紙：イスラエルはエジプトにパレスチナ諸党派に圧力をかけるように要求。
- ・ イスラエル軍：我々は、ガザでの”フェンスの守護者“2の準備はできている
- ・ ガザ アダメールが法務当局に、死刑を出すのをやめるように呼び掛け
- ・ 占領軍はエルサレムで2人の市民を逮捕し彼らの一人の兄弟を召喚した。
- ・ 一週間で、537人のコロナ感染者を記録し、626人が回復
- ・ 諸党派、西岸と48年領内での孤立した作戦は、第三次インティファダへの前哨戦である
- ・ イスラエル外相は、バブ・アルアムウドに挑発的なツアーを行った。

4月4日

- ・ バブ・アルアムウドで占領軍の衝突で、19人のパレスチナ人が負傷した。
- ・ ベツレヘムの西、フサンの町で、衝突と逮捕
- ・ ガンツ：アブドラ王とアブマーゼンとの会議は継続する。
- ・ アルーハデールの町で、占領軍との衝突
- ・ 当局者は、占領警察からアルアクサで過ぎ越しの生贄をすることを許可することを要求した。
- ・ ベツレヘムの南で、占領軍は青年を逮捕した。

4月5日

- ・ バブ・アルアムウドでパレスチナ人の逮捕と弾圧
- ・ 入植者がヘブロンを攻撃した。
- ・ シカゴのシナゴークは、反シオニズムとパレスチナと連帯を宣言
- ・ 占領当局者、エルサレムの28のパレスチナの機関の閉鎖を更新
- ・ エルサレム知事の西岸に入ることを阻止する決定が更新された。20年の刑期のあと、占領当局は、獄中者シャディ・アルシャルファを再逮捕した。
- ・ イスラム聖戦は、ジェニンとその抵抗勢力を支援することを呼びかけ
- ・ ガンツからアブマーゼンに、イスラエルは、入植者防衛を強制的に行うこと継続する
- ・ 占領軍は、ガザの南、カララの東に催涙ガスを発射した。

4月6日

- ・ ネゲブで二人の警官が車にひかれ負傷
- ・ 8人のエルサレム人を逮捕し、弾圧がつづく。
- ・ 西岸での急襲と逮捕
- ・ オデー：われわれは、ベネット政府を助けない、我々は選挙に向かうだろう。
- ・ イースター休日での集中した侵攻の呼びかけのなか、数十人の入植者が、アルアクサを襲撃した。
- ・ リクードは、ベネット政権を倒すにあと一歩必要
- ・ 3月中、占領当局は26人のジャーナリストを侵害した。

4月7日

- ・ ドイツはイスラエルから武装したドローンを買うことを決定した。
- ・ 占領軍は、西岸で12人のパレスチナ人を逮捕した。
- ・ バブ・アルアムウドでエルサレム人に対する逮捕と攻撃

- ・ 占領裁判所は、シリアト・アルハルシーやの獄中者オマルジャラダトの家の取り壊しを決定
- ・ ラマダンの開始から38人が拘束され、イースター休日の間アルアクサへの侵攻が予定されている。
- ・ ガザ：エルサレム、西岸、48年領内の人々への連帯のスタンディング

- ・ 占領当局は、シリワンのファタハの書記を逮捕

4月8日

- ・ ラマラの西で、入植者たちが、市民の車両を攻撃
- ・ ラマラの北で、入植者の銃弾で市民たちが負傷。
- ・ バブ・アルアムウドで3人の青年が逮捕された。
- ・ 人民戦線はテルアビブ作戦を賞賛した
- ・ ハマスはテルアビブ作戦を祝福した
- ・ イスラム聖戦：抵抗は継続する 占領当局は、その犯罪に対する対価をさらに支払われるだろう。
- ・ テルアビブの銃撃で、二人死亡、14人が負傷した。
- ・ ベネット：私は、軍と治安部隊にテロ攻撃の実行者に対する一切の条件を付けていない。
- ・ アブマーゼンは、テルアビブ作戦を非難。
- ・ バルグティ：テルアビブ作戦は、イスラエルの支配の治安的政治的失敗である。
- ・ トルコは、テルアビブ作戦を非難した
- ・ 占領軍は、北部西岸の接合部分に特殊部隊を送ることを決定した。
- ・ 毎週のクフルカッダムの行進への弾圧で、4人がイスラエルの銃弾で負傷した。
- ・ 占領下のエルサレムのアブ・アムウドで青年が逮捕された。

4月9日

- ・ ジェニン：殉教者アハメド・アルーサーディの葬儀に大勢が参加した。
- ・ ジェニンから占領軍が撤退した
- ・ ジェニンで一人が殉教し、10人が占領軍の銃弾で負傷した。
- ・ アルーザエーム検問所で、2人の青年が逮捕された。
- ・ ベイト・ウマールの衝突で、実弾で4人の青年が負傷した。
- ・ フサン村での占領軍との衝突で窒息者
- ・ ヘブロンテルメルメイダで入植者たちが市民を攻撃した。
- ・ 入植者たちが、トルカラムの東で、羊を放牧していた老人を攻撃
- ・ カフルアディクで農民とその家族を入植者たちが攻撃した。

4月10日

- ・ 占領軍、西岸で15人のパレスチナ人を逮捕
- ・ ジェニンで、武装衝突、逮捕、イスラエルの銃弾による負傷。
- ・ アカバト・ジャブルキャンプで、イスラエルの銃弾で負傷し、2人の青年が逮捕された。
- ・ 占領軍は、タラウィ礼拝のあと礼拝者がアルアクサに入るの阻止
- ・ 占領軍特別部隊が、ジェニンで車に銃撃した。
- ・ フサンの町で、占領軍の銃撃で女性が殉教した。
- ・ 占領当局は、ブネイ・ブラク攻撃の実行者の家族に、家の取り壊しの決定を通知した。
- ・ ヘブロンで市民が占領軍の銃弾で殺された。
- ・ 教育相はジェニンで、占領軍が、女学生と職員に銃撃をおこなったことを非難した。

4月11日

- ・ ジェニンで負傷した青年が殉教
- ・ ナブルスで二人の入植者が負傷した。

オリーブの会通信 第19号(通巻25号)

- ・ 占領軍の銃弾で、殉教。ベツレヘムで全面ストの発表。
- ・ 占領軍は、バブ・アモウドで活動家たちを逮捕した。
- ・ 占領軍は、西岸で13人を逮捕し、武器を没収した。

4月12日

- ・ 国連事務総長グテレス、占領下のパレスチナ領土での被害者の増大に懸念を表明した。
- ・ ベツレヘムの東のフサンで、暴力的衝突、負傷者、逮捕
- ・ 占領当局は、パレスチナ警察が入植地を襲撃しようとしたと非難
- ・ 大統領府：アルアクサでの生贄の儀式は危険であり、制御不可能なエスカレーションになる。
- ・ 3人のイサウィヤの青年が逮捕された。
- ・ トルカラムのカドリ大学への占領軍の襲撃で負傷者
- ・ ガザの抵抗諸勢力は、占領当局が、アルアクサでレッドラインを超えるなら攻撃態勢に入る。
- ・ 占領軍は、バドラス村で子供を逮捕した。

4月13日

- ・ ヘブロンを中心部での占領軍との衝突で、青年が撃ち殺された。
- ・ ヘブロンの北で、イスラエルの銃弾で、2人の青年が負傷した。
- ・ カドリエ大学内で特殊部隊による負傷者と逮捕者
- ・ ハンナ司教：我々は、みなジェニンとともにある、集団的懲罰の政策を拒否する。
- ・ 子供のムハマド・カセム占領軍は、国際的に禁止されている銃弾で命を奪った。
- ・ ナブルスの衝突と侵攻で、17人が負傷し、一人は重症
- ・ 占領軍は、西岸で16人の市民を逮捕。一人は負傷している。
- ・ ナブルスで一人が殉教し、17人がイスラエルの銃弾で負傷した。
- ・ カドリエ大学は、トルカラムの主要キャンパスへの襲撃を避難した。
- ・ 占領軍は、エルサレムでの作戦を計画しているとして、コベルとシリワドで6人を逮捕した。
- ・ カランスワでISISの支援をしているという容疑で、青年が逮捕された
- ・ アラブ連盟は、パレスチナ人に対する蹂躪を止めるための緊急の対策を呼びかけた
- ・ アラブ議会は、パレスチナでのイスラエルのエスカレーションを非難した。

4月14日

- ・ ベツレヘムの南のアルハーデルの町で、占領軍との衝突が起こった。
- ・ ベツレヘムで、全面ストライキ
- ・ 占領軍は、西岸の33人の市民を逮捕した。
- ・ シンベトは、3年前に、2人のイスラエル人を殺したパレスチナ人を逮捕した。
- ・ イスラエル教育相は、占領地内でナクバを記念することを阻止している。
- ・ ナビサレで、占領軍の銃弾で青年が負傷。
- ・ 入植者たちは、ヨルダン渓谷で新しい前哨地の設置を続けている。
- ・ ジェニンで、イスラエルの銃弾で二人の殉教者と4人の負傷者。
- ・ イスラエルは、西岸と国境を閉鎖することを決定した。
- ・ 占領軍は、ヨルダン渓谷の土地と占拠する決定を発行した。
- ・ イースターのイブに、占領が礼拝者の人数を制限し、復活祭に制限を課した。
- ・ 占領軍は、占領下エルサレムでバブ・ハッタ近くで、青年を逮捕した。

- ・ トルカラムで、占領軍の銃弾で、二人が負傷した。
- ・ イスラム協力機構は、イスラエルのアルアクサモスクへの侵害を非難した。

4月15日

- ・ 3人の過激派が、アルアクサに入ることを禁止された。
 - ・ イスラエルは、ダマスカス郊外の標的を爆撃
 - ・ ジェニンで占領軍に銃撃され負傷した青年が死亡
 - ・ シゲルの入り口で、占領軍に子供が銃撃された。
 - ・ 攻撃と逮捕、150人以上が負傷。占領警察は、アルアクサから撤退。
 - ・ ハマスは、アルアクサでの礼拝者に対する占領軍兵士の蛮行を非難した。
 - ・ イスラム協力機構は、アルアクサへの攻撃を非難し、イスラム諸国の感情を侮辱し知恵売る。
 - ・ ヨルダンとパレスチナ当局は、アルアクサでのイスラエル政策を止める必要を強調した。
 - ・ 民主戦線：西岸とエルサレムで起こっていることは、爆発を導く危険なエスカレーションである。
 - ・ ファタハ、我々は、アルアクサの支配をしようとする占領当局を許さない
 - ・ ヨルダンは、占領当局に、アルアクサから警察と特殊部隊を即時に取り除くように呼び掛け
 - ・ イスラム聖戦：アルアクサの礼拝者に対する侵害は、占領軍が責任を負うテロである。
 - ・ 人民戦線：アルアクサへの襲撃は、雷であり、歴史的パレスチナ全体の情勢を起爆するものである。
 - ・ サルフィットの西で、占領軍に少年が銃撃され、逮捕された。
 - ・ トルコは、アルアクサへの占領軍の襲撃を非難した。
 - ・ ナブルスの南のクスラ村への入植者たちの襲撃に市民が対峙
 - ・ イラン外務省アルアクサへの襲撃と礼拝者の攻撃を非難。
 - ・ カフル・カッダムの行進の弾圧で、占領軍の銃弾で、3人の青年が負傷した。
 - ・ EUは、聖地の現状を尊重するように呼び掛け
 - ・ ガザでアルアクサの礼拝者への攻撃を非難するデモ
 - ・ アラブ連盟は、アルアクサモスクでの状況のエスカレートに警告した。
 - ・ ヘブロンで、占領軍は二人の青年を逮捕し他を拘束した。
 - ・ サウジ：アルアクサへの占領軍の襲撃と礼拝者の攻撃を非難
 - ・ 人民党：我々は、占領を終わらせるための全面的な民衆蜂起のために諸勢力に団結することを呼びかける。
 - ・ ペイト・アイヌンで実弾で二人の青年が負傷し、占領軍は、アルアループキャンプを襲撃した。
 - ・ フサンとベツレヘムの北部入り口で占領軍との対峙で5人が負傷した。
 - ・ ベイタとペイトフリクでの占領軍との衝突で数十人が負傷した。
- ### 4月16日
- ・ 占領軍は、アブデイスで、青年を負傷させ、逮捕した。
 - ・ ウム・アルハムでアルアクサでの占領軍の攻撃に反対する抗議のスタンディング
 - ・ ウム・アルハムでのアルアクサを支持する集会の後衝突と逮捕
 - ・ エルサレム北部のシュファット検問所で衝突で青年が負傷
 - ・ トルカラムの南で、占領軍が、青年を負傷させ、逮捕した。
 - ・ アルコッツ大学の付近での占領軍との対峙で窒息者
 - ・ イスラエル警察は、ナザレでのアルアクサを支持する集会を弾圧し6人を逮捕した。

パレスチナ人に愛されている歌



ゲバラが死んだ Sheikh Emam

Guevara is dead (Guevara Mat) by Sheikh Imam
written by Ahmed Najm., 70年代パレスチナの若者は、皆ゲバラにあこがれていました。この歌はエジプトの盲目の歌手がうたったものですが、パレスチナ人の間で歌われていました。(一部意味不明)

ゲバラが亡くなりました
ゲバラが亡くなりました
ラジオの最新ニュース
そして教会で
モスクで
そして会話の中で
通りで
カフェとバーで
ゲバラが亡くなりました
会話の長さが伸びている
そしてコメントも
例の戦士が死亡した
ヤミットは男性にとっての損失です
切り株は大砲に面した森の上で死んだ
ニダラの死体
静かです
ドラマーが割れるようなことはありません
宣伝なし

あなたが誇りに思っている限り、あなたはどう思いますか
yaanticat
ああ、食べ物と服に溺れている
ああダヴィアン
そして温める人たちが好き
ああ組み立てる人、ああ輝く人！
ジムスナット
ああ、あなたは前回の闘争を知っています
ブイで
あなたが誇りに思っている限り、あなたはどう思いますか
ゲバラが亡くなりました
タトナ
シャンシャーも

通知や問い合わせはありません

私の目は裁きの時に彼を見えています
彼の仲間を除いて、あなたは彼を残します
彼のうめき声は宇宙を探しています
叫ぶ
そして、誰もそれを聞きません
痛みから泣くことができます
子宮の中で火に刺された人は誰でも
笑うことができます
または笑顔
または震え
または高くなる
別の息が発音されることがあります
さよならを言う
空腹のために
お勧めできません
その出来事のインキュベーターは誰ですか？
紛争で、
たくさんの写真
想像力に満ちた
1億の可能性
しかし確かに
確かに
議論なし
ゲバラが亡くなりました
男性の死

雇用され、不利な立場にある
ああ2つのシリーズ、2人の男性と頭
大丈夫大丈夫
マルコッシュの救い
銃や弾丸ではありません
これが幸せな時代の論理です
ニグロとアメリカ人の時代
床は火と鉄用です
そして正義は愚かで臆病です
奴隷のゲバラを泣く
どんな国や場所でも
代替手段はありません
道はない
ああ、救世軍を準備してください！
ああ、あなたは世界に言います。救いを
<https://lyricstranslate.com>



批評家に殺されることがある。
彼らは特定の詩を欲しがり
特定の比喩を求める
そして、もし私が脇道にそれると
彼らは言う：“彼は道を裏切った”
もし私が草の中に雄弁さを見出したら
“彼はホルムオークの堅固さを捨てた”と言うんだ
もし私が春のバラを黄色と見れば
その花びらのどこに祖国の血が流れているのか」と問う。
そして、もし私が「庭の扉にいるのは、私の一番下の妹の蝶だ」と書けば
庭の扉で
彼らはその意味をスプーンでかき混ぜる
そして、もし私がささやくなら：「母は母である、子を愛するとき
棒のように枯れてしまうのです。
彼らは言う：「彼女は喜びの声を上げ、葬式で踊る。
彼の葬式は彼の結婚式なのだから

そして、もし私が空を見上げたら
見えないものを見ようと空を見上げたら
詩はその目的から大きく外れてしまった」と言われる。
批評家に殺されることもある
そして私は彼らの読みから逃れ
彼らの誤解に感謝し
そして新しい詩を探す。

Assassination

おいしいパレスチナ キドシ



スパイスの効いたライス、ガーリック、ひよこ豆、そ

して柔らかいラム肉が入ったパレスチナの料理です。お弁当のおかずにもぴったりです。

準備時間

30分

材料

ラム肉の下ごしらえ

ラム肉（できればラムショルダー） 中くらいの大きさのカット12枚

フィリッポ・ベリオ・カリフォルニア・エクストラバージンオリーブオイル 大さじ2杯

塩 大さじ1

ブラックペッパー 小さじ1/2

オールスパイス（挽き割り） 大さじ1

茹で汁

ターメリック 小さじ1/2

ガーリックパウダー 小さじ1/2

1個のタマネギ（4分の1に切ったもの）

ベイリーフ 4枚

4 カルダモンポッド

2個のニンニククローブ

1 シナモンスティック

ライスの準備

フィリッポ・ベリオ・カリフォルニア・エクストラバージンオリーブオイル 大さじ1杯

イエローオニオン（みじん切り）1個

ニンニク 20片（半分に切る）

クミン（小さじ1/2）

ターメリックパウダー 小さじ1/4

セブンスパイス 大さじ1

塩 小さじ1

バスマティライス（水で洗い、水気を切ったもの）2カップ

15 oz. ひよこ豆の水煮缶（水気を切る）

付け合せ

トーストしたスライスアーモンドまたは松の実 1/3カップ

ギー（大さじ1）

作り方

まず、ラム肉を冷水でよく洗い、必要であれば余分な脂肪を取り除く。ラム肉の水分を拭き取る。

大きな鍋にオリーブオイルを入れ、中火にかけ、温めておく。油が熱くなったら、ラム肉を入れ、軽く焼き色がつく程度に片面4分ずつ焼く。

材料リストの半分の塩、胡椒、オールスパイスで味付けをする。

次に、ラム肉の上に2センチほどかぶるくらいの沸騰したお湯を入れる。これを30分ほど蓋をして煮込む。煮汁が上に上がってきたら、スプーンですくって取り除く。この時点で、残りの調味料と成分表にある成分を加える。弱火から中火でさらに1時間半ほど煮込みます。

肉の切り方や大きさによっては、もう少し時間がかかるかもしれませんが、出来上がります。

ラム肉を取り出し、ボウルの上にざるを置き、ラム肉から出たスープを注ぐ。

このスープでご飯を炊くと、とてもおいしくなります。

ラム肉を焼いた鍋を拭き、オリーブオイルを入れ、玉ねぎを入れる。香りが出るまで5～8分炒め、ニンニクを加えてさらに5分炒める。

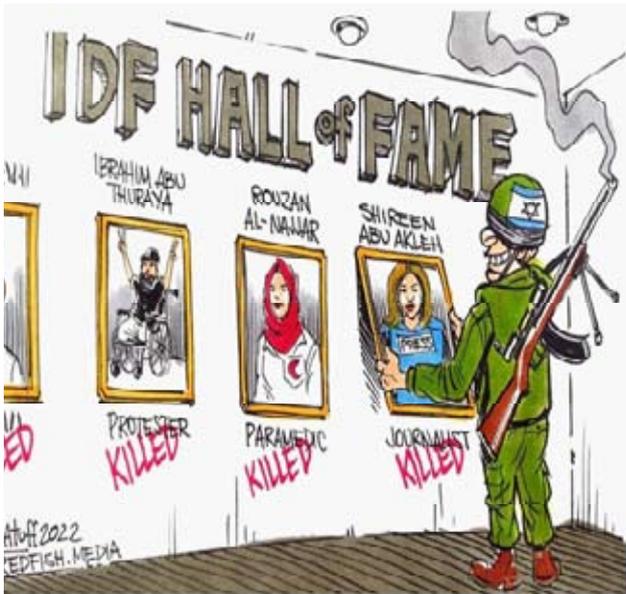
上記のスパイスで味付けをし、米とひよこ豆を加える。全体が均一になるようによくかき混ぜます。

米の大部分を取り出し、皿に盛って横に置く。鍋にご飯を残し、その上にラムを半分ほどのせ、残りのご飯を加え、残りのラムをのせます。

この上に、米が1センチほど隠れるくらいのスープを入れる。鍋に合った耐熱皿を米の上に置き、炊飯中の状態を維持する。余ったスープは容器に入れて冷蔵庫に保管し、後で使う。

鍋の底を焦がさないようにしながら、弱火から中火で20～25分ほど蓋をして炊く。煮汁が蒸発し、米に火が通ったら火を止める。さらに5～10分ほど蒸らし、お好みの皿に盛る。

ギーでトーストしたスライスアーモンドや松の実をトッピングしてください。アラビックサラダやプレーンヨーグルトと一緒に召し上がりください。



新たな IDF の殿堂入り



5月30日、ロッド空港での英雄的作戦の50周年、殉教者と戦士岡本公三に刑いくお敬意を表して 人民戦線



ベイルートの殉教者墓地での集会に参加する岡本さん

今号の内容

記者の暗殺は西岸の緊張をたかめた.....1

記者の暗殺への各界の反響.....3

人民戦線；日本の革命戦士の解放を祝賀.....6

逮捕20周年の記念スピーチ.....6

2020年末までの難民は640万人・8

パレスチナ日誌.....10

パレスチナの愛した歌.....13

パレスチナの詩.....14

おいしいパレスチナーキドレ.....15



イスラエル軍は別の殉教者の葬列を攻撃した東エルサレム



5月15日ナクバ記念日の行進ラマラ